

平成28年度
2016

大学院医学系研究科生命医科学専攻
(修士課程)

Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine
(Master's Program)

第2次 学生募集要項
Secondary Admission Guidelines



群馬大学

Gunma University

目 次

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻（修士課程）

◆ 教育ポリシー	1 頁
◆ 第2次学生募集要項	
1 募集人員及び専攻分野	2 頁
2 出願資格	3 頁
3 出願資格の審査等（該当者のみ）	3 頁
4 出願受付（出願書類一覧は5頁）	4 頁
5 障害等のある入学志願者との事前相談について	8 頁
6 選抜方法	8 頁
7 試験期日及び試験場	9 頁
8 試験科目の出題意図	9 頁
9 受験に際しての注意事項	9 頁
10 合格者発表	9 頁
11 入学手続	10 頁
12 追加合格	10 頁
13 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予	10 頁
14 奨学金	11 頁
15 入試情報の開示	11 頁
16 入学志願者等の個人情報保護について	11 頁
◆ 生命医科学専攻（修士課程）の概要	
1 設置の趣旨及び目的	15 頁
2 研究対象とする学問分野	15 頁
3 教育課程	16 頁
4 その他	16 頁
◆ 各専攻分野等指導教員一覧（連絡先）及び研究内容	
1 各専攻分野等指導教員一覧	17 頁
2 研究内容一覧	18 頁
◆ 出願関係書類様式	

学生募集要項（和文）

教育ポリシー

群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻修士課程

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

～このような人を求めています～

本専攻の課程で学び研究を行うために必要な学力・能力を備えた、次のような人を受け入れます。

- 1 医学・医療・福祉の分野で高度専門職業人として、社会の発展に貢献する意欲のある人
- 2 本課程修了後に医科学専攻博士課程に進学するなど、生命医科学研究を通して、人類や社会の発展に貢献する意欲のある人

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

～このような教育を行います～

生命科学と医学との融合領域である生命医科学を対象として次のような教育を行います。

- 1 生命現象の解明を医学的観点から進めるとともに、病気の診断と治療、さらには健康の増進や生活の質の向上を目指した新しい医療の創出を目指した体系的教育
- 2 生命科学・医学・医療の基礎的知識・手技及び必要とされる倫理観を修得させた後、研究課題や進路に応じた実践的な専門的知識を修得させる教育
- 3 研究の立案・遂行・応用に必要な知識と研究成果発表の方法を修得させて修士論文を作成させ、各領域のリーダーにふさわしい能力を育成する教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

～このような人材を育てます～

生命医科学の各領域における教育を受け、高い倫理観と豊かな学識に立脚し、自立して研究を行う能力を身につけ、修了要件を満たした次のような者に、修士の学位を授与します。

- 1 生命科学・医学・医療・福祉の各領域で活躍できる、専門的知識・高度な技術を修得した者
- 2 生命医科学の各研究領域でリーダーシップを発揮して、研究に携わることができる者

○選抜方法

生命医科学専攻修士課程では、修学背景や価値観の異なる多様な人材を求めて、次のような選抜を行います。

1. 学力検査及び出身大学等の成績を総合して判断します。
2. 学力検査は、外国語（英語）試験及び志望専攻分野における口頭試問により行います。
3. 外国語試験では、生命医科学領域における英語文献の読解力及び作文能力を問います。
4. 口頭試問では、意欲・適性を重視します。また、研究に従事するに当たって必要な専攻分野に関する基礎的知識・学力を問います。

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)

第 2 次 学 生 募 集 要 項

1 募集人員及び専攻分野

基礎医学系 (17 分野)	臨床医学系 (14 分野)	協力・連携講座 (16 分野等)	
脳神経再生医学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	(医学部附属病院) 情報医療学 臨床試験学	募集人員 6名
病態病理学	神経精神医学		
神経薬理学	病態制御内科学		
遺伝発達行動学	泌尿器科学	(生体調節研究所) 遺伝子情報 細胞構造 シグナル伝達 分泌制御 細胞調節 遺伝生化学 分子細胞制御 代謝シグナル解析 ゲノム科学リソース 生体膜機能	
分子細胞生物学	産科婦人科学		
生体構造学	臨床薬理学		
生化学	臨床検査医学		
機能形態学	臓器病態内科学		
応用生理学	病態総合外科学		
病態腫瘍薬理学	腫瘍放射線学		
病理診断学	放射線診断核医学		
分子予防医学	小児科学		
細菌学	リハビリテーション医学		
国際寄生虫病学	総合医療学		
法医学	/	(日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所) 生体機能解析学	
公衆衛生学			
医学哲学・倫理学			

(注) 出願に当たっては、各分野研究内容(18頁以降)を参照の上、志望分野の指導教員に研究指導等について、各自問合せください。なお、1年次前期終了までに専攻分野を変更することも可能です。

2 出願資格〈次の各号のいずれかに該当する者〉

- (1) 大学を卒業した者又は平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により本大学院以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 平成28年3月までに大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

3 出願資格の審査等（該当者のみ）

- (1) 出願資格の（8）又は（9）の規定により出願しようとする者は、出願に先立ち、次により本大学院の行う入学資格の審査を受け、出願資格を有する確認の証明を受けた者のみが出願することができます。

なお、審査結果については平成27年12月25日（金）までに本人に通知します。

ア 提出期限

平成27年12月14日（月）

イ 提出書類

① 出願資格（8）に関わる審査の場合

(ア) 入学資格審査申請書（本要項添付の用紙（様式9）によります。）

(イ) 成績証明書（出身校の長が作成し、厳封したもの。）

(ウ) 在学証明書（在学年次が明記されているもの。）

(エ) 研究業績がある場合は、その業績（論文等）

② 出願資格（9）に関わる審査の場合

(ア) 入学資格審査申請書（本要項添付の用紙（様式9）によります。）

- (イ) 研究歴証明書（本要項添付の用紙（様式10）によります。）
- (ウ) 研究業績又はその他顕著な業績がある場合は、その業績（論文等）
- (エ) 最終学校（短期大学、専修学校又は各種学校等）の卒業又は修了証明書
- (オ) 最終学校（短期大学、専修学校又は各種学校等）の成績証明書

ウ 提出先

群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号

電話：027-220-7797

- (2) 出願資格(10)の規定により出願しようとする者は、出願に先立ち(1)－ウの提出先に問合せてください。

4 出願受付

(1) 願書の受付期間

平成28年1月4日（月）から1月8日（金）（必着）

(2) 出願書類等の提出方法

出願書類等は、持参又は郵送の上、受付期間内に提出してください。

- ① 直接提出する場合は、9時から16時まで(3)の昭和地区事務部学務課入学試験係で受け付けます。
- ② 郵送の場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「大学院医学系研究科生命医科学専攻（修士課程）入学願書在中」と朱書きし、(3)の昭和地区事務部学務課入学試験係宛に送付してください。

(注) 1. 受付期間を過ぎた場合には受理しないので、郵便事情・郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。なお、特別な事情がある場合については、平成28年1月4日（月）16時までに(3)の昭和地区事務部学務課入学試験係へ連絡してください。

2. 出願書類を普通郵便で郵送した場合は、事故があっても本学ではその責任を負いません。

(3) 出願書類等(用紙は本学大学院医学系研究科・医学部のホームページ (<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>) から入手可能です。)

書 類	摘 要
1 入学願書・履歴書 〔様式1〕	本要項添付又はホームページから入手した用紙に必要な事項を記入してください。 外国の学校を卒業又は卒業見込みの者は、 履歴書 も記入してください。
2 志 願 理 由 書 〔様式2〕	本学所定様式により 出願者本人 が作成したもの(字数自由)。
3 検 定 料	<p>30,000円 次のいずれかの方法により支払ってください。</p> <p>1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)からの支払い (1) 本募集要項に添付してある検定料振込用紙〔様式3〕により、上記金額を必ず金融機関窓口から振り込み、「振込金受付証明書(大学提出用)」を受領してください。なお、振込手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。 (2) 「振込金受付証明書(大学提出用)」を貼付台紙〔様式4〕の所定の欄に貼り付けてください。 (3) 「振込金受取書」は本人の控えとして大切に保管しておいてください。 (4) <u>振込取扱期間：平成27年12月18日(金)から平成28年1月8日(金)15時まで</u> (5) 金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの及び鉛筆書きのものは無効になります。 また、ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。</p> <p>2. コンビニエンスストアでの支払い (パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。) (1) 13頁「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。 (2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙〔様式4〕の所定の欄に貼り付けてください。 (3) <u>支払期間：平成27年12月18日(金)から平成28年1月8日(金)15時まで</u>(「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前まで)</p> <p>3. クレジットカードでの支払い (パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。) (1) 13頁「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。 (2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙〔様式4〕の所定の欄に貼り付けてください。 (3) <u>支払期間：平成27年12月18日(金)から平成28年1月8日(金)15時まで</u></p> <p>4. 海外からの送金 (1) 銀行の窓口から下記の銀行口座へ送金(円建て)してください。なお、振込手数料並びに海外送金手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。 (2) 銀行で受け取った「振込金受付証明書(大学提出用)」を貼付台紙〔様式4〕の所定の欄に貼り付けてください。なお、送金額に過不足が生じた場合は、取り扱えませんので御注意ください。 (3) 海外から送金する場合にはあらかじめ電子メールで昭和地区事務部学務課入学試験係(下記メールアドレス)まで連絡してください。その際、氏名、送金を行う国名及び修士課程へ出願予定である旨を必ず明記してください。[E-mail: kkgakumu5@jimu.gunma-u.ac.jp]</p> <p>○銀行口座 Bank: The Towa Bank, LDT (Bank Code: 0516) Branch: Maebashi Kita Branch (Branch Code: 012) Address: 1-5-2 Kokuryo-cho, Maebashi City, Gunma, 371-0033, JAPAN TEL: +81-27-231-6789 Swift Code: TOWAJPJT</p> <p>Account number: 3169574 (Savings Account) Name of account: Gunma daigaku Address of AC Holder: 4-2 Aramaki-machi, Maebashi City, Gunma, 371-8510, JAPAN TEL: +81-27-220-7062</p> <p>(4) <u>振込取扱期間：平成27年12月18日(金)から平成28年1月8日(金)15時まで(日本時間)</u></p>

書	類	摘	要
3	検 定 料		<p>(5) ATM (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。</p> <p>【検定料の返還について (共通)】</p> <p>※ 既納の検定料は原則として返還しませんが、次の場合は、所定の手続きにより返還します。</p> <p>① 検定料振り込み後、出願しなかった場合 ② 検定料を二重に振り込んだ場合、又は誤って所定の金額より多く振り込んだ場合 ③ 出願書類を提出したが受理されなかった場合</p> <p>返還に当たっては便せん等を用い次の1～4を明記した検定料返還申出書を作成して昭和地区事務部学務課入学試験係へ速やかに郵送してください。 後日、群馬大学から検定料返還請求書類を送付します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻入学試験 検定料返還申出書</p> <p>1. 返還申出の理由 2. 氏名 (フリガナ) 3. 郵便番号、現住所 4. 連絡電話番号</p> </div> <p>返還申出書送付先 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係</p> <p>※ 返還の手続きを行う際に、「振込金受取書」(海外の場合には、銀行から受け取る受領書の本紙)が必要となります。返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</p> <p>検定料の返還に関する問合せ先 群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係 電話：027-220-7797</p> <p>※ 出願時において国費外国人留学生 (日本政府) である場合には検定料を納入する必要はありません。該当する場合は国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。</p> <p>※ 東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。 〈検定料の免除の対象者〉</p> <p>1. 東日本大震災に係る特別措置</p> <p>(1) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者 ② 学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者</p> <p>2. 風水害等の災害に係る特別措置</p> <p>(1) 出願期限の日から前1年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者 ② 学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ (入試案内) を御確認ください。</p> <p>上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ (入試案内) からダウンロードし、<u>関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。</u>書類の提出に関する問合せ等は、平日8時30分から17時の間に学務部学生受入課【電話027-220-7149】まで連絡してください。</p> <p>URL : http://www.gunma-u.ac.jp</p>

書 類	摘 要
4 振込金受付証明書・検 料収納証明書 書 貼 付 台 紙 〔様式4〕	本要項添付又はホームページから入手した本台紙の貼付欄に「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付し、提出してください。
5 写 真 票 〔様式5〕 受 験 票 〔様式6〕	本要項添付又はホームページから入手した用紙に必要な事項を記入してください。 なお、出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面向（タテ4cm×ヨコ3cm）の 写真の裏面に氏名を記入し、「写真票」の所定の欄に貼ってください。 また、「写真票」と「受験票」は切り離さずに提出してください。
6 卒業（見込） 証 明 書	出身校の長が作成したもの。 なお、出願資格（9）により出願資格を有する証明を受けた者及び、群馬大学医学部 出身者は提出不要です。
7 「学士」の 学位証明書	学位を授与した機関が証明したもの。当該学士の授与の基礎となった成績証明書を添 付してください。 注）出願資格（2）に該当する者のみ
8 成績証明書	出身校の長が作成し、厳封したもの。 なお、出願資格（8）又は（9）により出願資格を有する証明を受けた者及び、群馬 大学医学部出身者は提出不要です。
9 宛 名 票 〔様式8〕	本要項添付又はホームページから入手した用紙に必要な事項を記入してください。
10 返信用封筒 （長形3号）	362円切手を貼り、受取人の住所・氏名及び郵便番号を明記したものを添付してくだ さい。 なお、海外からの志願者は提出不要です。
11 受験承諾書 〔様式7〕	有職者の方は、勤務先の所属長又は任命権者の受験承諾書（本要項添付の用紙（様式7） によります。）を提出してください。
12 出願資格確認 証明書 （コピー可）	出願資格の（8）又は（9）により入学資格審査を事前に受けた者は、出願資格があ る旨の証明を受けたものを提出してください。
13 T O E F L、 TOEIC（公開 テスト）又は IELTSのスコア	TOEFL、TOEIC（公開テスト）、IELTS（Academic Module）による外国語（英語） 試験を希望する者は、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC（公開テスト）、 IELTS（Academic Module）のうちいずれか1つのスコアレポート等を提出してくだ さい。 本人宛に送付されたスコアの原本（発行後2年以内のもの）に限ります。コピーは認 めません。 原本は受験票とともに返送します。

- (注) 1 出願書類受理後は、出願書類の内容の変更は認めません。
2 受理した出願書類は、理由のいかんに関わらず返還しません。
3 出願書類の記載事項に事実の相違が判明した場合は、合格及び入学の許可を取り消す場合があります。
4 出願資格の確認に際し、本学が必要と認めた場合は、上記の「出願書類等」以外の書類の提出を求め
ることがあります。
5 各証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を
添付してください。

(4) 出願書類等の提出先

群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号

電話：027-220-7797

(5) 受験票等の送付

出願書類を受理し、事務処理終了後、受験票等を志願者宛に送付しますが、平成28年
1月22日（金）までに届かなかった場合は、昭和地区事務部学務課入学試験係〔電話：
027-220-7797、E-mail：kk-mgakumu5@jimu.gunma-u.ac.jp〕へ問合せてください。

5 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

平成27年12月14日（月）までとしますが、できるだけ早い時期に相談してください。

(2) 相談の方法

相談書（様式は任意）に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者あるいは家族等との面談を行います。

(3) 相談書の提出先

群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号

電話：027-220-7797

6 選抜方法

学力試験（口頭試問含む）及び志願者が提出した出身大学等の成績証明書を総合して判定します。

(1) 外国語（英語）試験について

① 出願時に TOEFL-PBT (Paper Based Test)、TOEFL-iBT (internet Based Test)、TOEIC (公開テスト) 又は、IELTS (Academic Module) のスコアを提出した者は、③の対応例により外国語（英語）の試験点数に換算し、筆記試験に代えることができます。TOEFL-ITP (TOEFL Institutional Testing Program) のスコアも評価対象とし、TOEFL-PBT のスコアに準じて換算します。

なお、出願時に TOEFL、TOEIC 又は IELTS (Academic Module) のスコアを提出した者でも、希望する者は外国語（英語）試験の受験が可能です。その場合は成績の良い方を判定に使用します。

② TOEFL、TOEIC 又は、IELTS (Academic Module) のスコアは発行後2年以内のものを有効とします。提出するスコアレポート、スコアカード又は公式認定証は原本とし、コピーは認めません。原本は受験票とともに返送します。

③ 外国語（英語）試験成績対応例

TOEFL・TOEIC（公開テスト）との対応例

英語試験換算	60点	65点	70点	80点	90点	100点
TOEFL-PBT	475点以上	487点以上	500点以上	525点以上	550点以上	600点以上
TOEFL-iBT	52-53点以上	57点以上	61点以上	70-71点以上	79-80点以上	100点以上
TOEIC(公開テスト)	514点以上	549点以上	586点以上	658点以上	730点以上	874点以上

IELTS (Academic Module) との対応例

英語試験換算	37点	51点	70点	90点	100点
IELTS (AcademicModule)	5	5.5	6	6.5	7

7 試験期日及び試験場

期 日	時 間	試 験 科 目	試 験 場
平成28年 2月7日(日)	10:00~12:00	外国語(英語)	群馬大学医学部 他
	13:00~15:00	専攻分野等(口頭試問)	

8 試験科目の出題意図

外国語(英語)…………… 英語による文献の読解力及び作文能力を問います。

※英和辞典・英英辞典若しくはそれに類する辞典(電子辞典及び専門用語辞典等は不可)1冊の使用を認めます。

志望専攻分野等(口頭試問)… 研究に従事するに当たって、必要な専攻分野に関する基礎的学力及び研究に対する意欲を審査します。

※第一志望専攻分野等教員による口頭試問を実施します。

志望専攻分野決定に当たっては、必ず、志望分野の指導教員に
あらかじめ連絡をとってください。

9 受験に際しての注意事項

- (1) 受験に際しては、受験票を必ず持参してください。
- (2) 受験者は、必ず9時30分までに該当試験室に入室してください。やむを得ない事情により遅刻した者については、試験開始後30分までは受験を認めますが、試験時間は延長しません。
- (3) 課せられた試験科目は、全て受験しなければ失格となります。
- (4) 試験当日、公共交通機関等に遅延等が発生した場合は、昭和地区事務部学務課入学試験係〔電話：027-220-7797〕へ問合せしてください。
- (5) 試験の実施に関しての不測の事態(災害・事故等)が生じた場合は、本学大学院医学系研究科・医学部のホームページ(<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>)に掲載しますので、御確認ください。なお、追試験は原則実施しません。

10 合格者発表

平成28年2月29日(月)付けで、合格者本人に合格通知書を郵送します。併せて、合格者の受験番号を本学大学院医学系研究科・医学部のホームページ(<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>)に同日の10時以降から入学手続日まで掲載します。本学構内での掲示等はいりません。

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うもので、掲載する情報の完全性については、万全を期しておりますが、万一ホームページの情報と合格者に郵送される合格通知書が異なる場合は、合格通知書を正しいものとします。

また、合否についての電話による問合せには、応じません。

11 入学手続

合格者は、「合格通知書」とともに同封する「入学手続案内」をよく読んで、(1) 入学手続に必要なものを取りそろえ、(2) 入学手続期間に、(3) 入学手続場所まで「郵送」又は「持参」してください。

(1) 入学手続に必要なもの

- ① 入 学 料 282,000円
- ② 授 業 料 前期分 267,900円 (年額 535,800円)

(注意) ア. 入学料及び授業料に、入学時及び在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ. 入学料及び授業料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

エ. 入学手続完了者が、平成28年3月31日(木)までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続の上、納入した授業料相当額を返還します。

オ. 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に、後期分も併せて納入することができます。

③ 受 験 票

④ 入学手続案内で指示するもの

(2) 入学手続期間

○郵送の場合：平成28年3月11日(金) までに大学へ必着

○持参の場合：平成28年3月11日(金) 13時から17時まで【時間厳守】

(注意) 郵送・持参のいずれの場合も、上記までに入学手続が完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

(3) 入学手続場所等

○郵送の場合：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号
群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係

○持参の場合：群馬大学昭和地区事務部学務課(共用施設棟3階)

12 追加合格

平成28年3月11日(金)の入学手続を完了した者が募集人員に満たない場合は、追加合格により欠員を補充することがあります。追加合格該当者には、平成28年3月11日(金)17時頃から電話により入学願書に記載された連絡先へ通知します。

13 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の全額若しくは半額を免除する制度があります。

また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予する場合があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ(<http://www.gunma-u.ac.jp/>)の「受験生のみなさまへ」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学昭和地区事務部学務課学事・学生支援係 電話：027-220-7796

東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ (<http://www.gunma-u.ac.jp/>) の「受験生のみなさまへ」を御覧ください。

入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して、各研究科・学府等からの推薦に基づき、授業料の免除をする制度があります。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7141

14 奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ (<http://www.gunma-u.ac.jp/>) の「受験生のみなさまへ」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学昭和地区事務部学務課学事・学生支援係 電話：027-220-7792

15 入試情報の開示

入試情報の開示は、次により行います。

(1) 平成28年5月2日（月）以降に本学大学院医学系研究科・医学部ホームページ (<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>) に開示する情報

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学者等の男女比率

(2) 文書による受験者の請求により開示する情報

当該受験者の入学試験総合得点を文書で開示します。

○開示請求受付期間

平成28年5月2日（月）から5月31日（火）まで

(3) 問合せ先 群馬大学昭和地区事務部学務課入学試験係 電話：027-220-7797

16 入学志願者等の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願書類等による志願者等の個人情報及び入学試験の実施による受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、次の目的以外には利用しません。

(1) 入学者選抜（出願資格審査含む）に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む）

(2) 入学手続完了者にあつては、入学者データとしての入学後の修学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務

なお、本学は出願書類記載事項のコンピュータ登録業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

試験場の案内

○ 所在地

群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻（修士課程）

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号

電話：027-220-7797

○ 交通案内

乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
J R 両毛線 前橋駅北口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群大病院行 ・ 群大病院經由南橋団地<small>なんきつ</small>經由群大荒牧行 	} 群大病院	約15分	関越交通バス
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川駅行 (群馬大学荒牧經由含む) ・ 渋川市内循環渋川駅行 (群馬大学荒牧經由) ・ 小児医療センター行 (群馬大学荒牧經由含む) 			
J R 両毛線・ 上越線 新前橋駅東口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群大病院行 	群大病院	約23分	関越交通バス
		群大病院入口	約18分徒歩6分	
J R 上越線 渋川駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前橋駅行 (渋川市内循環、群馬大学荒牧經由含む) 	} 群大病院 } 入口	約30分徒歩6分	関越交通バス

※試験場への自動車・オートバイ等の乗り入れは、禁止します。

※J R 群馬総社駅からは、公共交通機関がありませんので注意してください。

※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「サークルK」「サンクス」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトを御確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

本学HP
からも
アクセス
できます！

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

クレジットカードでお支払いの場合

画面の指示に従って必要事項を入力し、そのままカード決済手続きを行ってください。

※カード決済完了後の修正・取消はできませんので、申し込みを確定する前に内容をよく御確認ください。



2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払いの場合

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

クレジットカードでお支払いの場合

7-Eleven
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。
マルチコピー機は使用しません。

お支払い後、必ず「入学検定料・
選考料 取扱明細書」を受け取っ
てください。

サークルK
【オンライン決済番号 (11ケタ)】

Kstation へ

各種支払い
11ケタ等の番号を
お持ちの方
オンライン決済番号を
入力してお支払い
【オンライン決済番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。
お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

LAWSON
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppi へ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】
を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポート へ

代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】
を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

VISA MasterCard JCB

※お支払いされるカードの名義人は、
受験者本人でなくても構いません。
ただし、「基本情報入力」画面では、
必ず受験者本人の情報を入力してく
ださい。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会
(URL: <https://e-shiharai.net/>) にアクセス
して、「入学検定料・選考料 取扱明細書」
を印刷してください。

3 出願手続

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、
貼付台紙の所定欄に貼る。

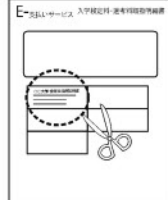


※「収納証明書」を掲付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている欄は御使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【クレジットカードでお支払いの場合】

支払い完了後、E-支払いサイトの「**申込内容照会**」
にアクセスし、受付完了時に通知
された【受付番号】と【生年月日】
を入力して「**入学検定料・選考料
取扱明細書**」を印刷。「**収納証明
書**」部分を切り取り、貼付台紙の
所定欄に貼る。※左図参照



〈注意〉
携帯電話・スマートフォンでお申
みされた方は、プリンタのある環境
で申込内容照会を行ってください。

- 支払期間については、募集要項を御確認の上、受付期間に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- コンビニエンスストアでのお支払いの場合、「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前までとなります。なお、店頭端末機の使用及びクレジットカードでのお支払いの場合の支払期間は、各募集要項でお示すとおりです。

- E-支払いサイトの「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

生命医科学専攻（修士課程）の概要

1 設置の趣旨及び目的

近年の生命科学、情報科学などの急速な発展により、基礎研究の成果をバイオ関連産業や創薬・再生医療をはじめとする新しい医療の創出へ活用する可能性が大きく広がっています。一方、先端医療に伴う医学医療倫理及び情報セキュリティ、高齢化社会における地域医療支援など、多くの課題の解決に迫られており、医学研究者・医療人の役割は益々多様化しています。

このような状況の中で、医学部医学科以外の学部卒業者に広く門戸を開き、生命科学及び医学・医療各分野においてリーダーシップを発揮できる研究者、教育者、高度職業人等を育てる必要性が高まっています。しかしながら、医学と関連の深い生命科学分野及び生命科学と医学の学際的学問領域（これらを総称して生命医科学と呼ぶ）を主体的に担うことのできる研究者・教育者、社会のニーズに対応できる高度職業人の育成は十分とはいえないのが現状です。

一方、医学部医学科、歯学部、薬学部、獣医学部以外の学部卒業者の中には生命科学研究や医療分野に興味を持ち、医学・医療の分野に進むことを希望する者が増加しているにもかかわらず、これらの卒業者が医科学専攻（博士課程）に入学するには、修士課程を修了するか若しくは大学、研究所等において2年以上の研究経験を経る必要がありました。群馬大学大学院医学系研究科は、平成15年度、医科学専攻博士課程を基礎臨床融合型の研究教育組織に改組して重点化するとともに、保健学専攻に博士（後期）課程を設置し、両専攻において昼夜開講制を実施することによって、医学、保健学のみならず関連分野の社会人を積極的に受け入れるなど、学際化に多大な努力を払ってきました。

しかしながら、医科学専攻（博士課程）に医学部医学科、歯学部、薬学部、獣医学部以外の学部卒業者を直接受け入れることができませんでした。

このような社会からの要請を受け、さらに幅広い多様な他学部卒業生の希望を満たすために、群馬大学大学院医学系研究科に生命医科学専攻（修士課程）を設置しました。本課程は、医学部医学科以外の出身者が医学・医療・生命科学を支える研究を自立して推進できる能力及びその基礎となる豊かな学識を養い、これらの領域においてリーダーシップを発揮できる能力を養成することを目的としています。

2 研究対象とする学問分野

生命医科学とは、医学と関連の深い生命科学分野及び生命科学と医学の学際的学問領域の総称です。本生命医科学専攻では、生命科学と従来の基礎医学・臨床医学（解剖学、生理学、生化学、細胞生物学、分子生物学、遺伝学、薬理学、神経科学、微生物学、寄生虫学、病理学、法医学、衛生学、公衆衛生学、医学倫理学、情報医療学、内科学、外科学、産婦人科学、耳鼻科学、リハビリテーション医学、臨床検査医学、核医学、腫瘍治療学、放射線医学、臨床薬理学、小児学、精神医学等）との融合領域を教育・研究対象とすることにより、生命現象の解明を医学的観点から進めるとともに、病気の診断と治療、さらには健康の増進や生活の質の向上を目指した新しい医療の創出を視野に入れた生命医科学の確立を目指します。

特に平成21年度からは、近年注目を集めている医学物理学の分野にも研究対象を拡大し、より幅の広い生命医科学の研究を推進しています。

3 教育課程

- 1) 授業科目は基礎科目、実践科目、研究科目の3つの科目区分に分類されます。
- 2) 1年次に履修する基礎科目において、その必修科目を履修することにより、生命科学・医学の基礎知識と生命医科学研究を行う上で必要な基礎的な手技を修得します。これにより、全ての学生に共通する基礎的要素が涵養されます。
次に、基礎科目のうちの選択必修科目の履修により、複数の専攻分野に共通して必要とされる生命医科学の基礎的要素を修得します。専攻分野を決めずに入学した学生は、これらの基礎科目を履修する間に、1年次前期終了までに、現在の生命科学や医学・医療の課題を把握し、自己の専門性と能力、希望に応じて専攻分野を決定することになります。
- 3) 実践科目においては、研究課題や修了後の進路に応じた授業科目を選択科目として履修します。専攻分野における生命医科学研究を遂行する上で、また自らの専門性をさらに高め広げる上で必要となる応用実践的な知識を修得することを目的とします。
- 4) 研究科目は、専攻分野において生命医科学研究を遂行するにあたり、研究立案・遂行に必要な知識、研究成果発表方法の習得を行うための授業科目です。

4 その他

生命医科学専攻の教育課程では、次の特色ある人材養成の取組を推進していきます。

「医学物理コース」

平成21年度に設置されたコースで、高エネルギー炭素線を用いた「重粒子線治療」やX線を用いた「IMRT」などの高度先進医療を推進していくために必要な、医学物理学分野の専門家を養成するコースです。

「国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コース」

医学物理学の指導者を養成するコースです。平成24年度から開始された文部科学省による「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」において「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」（申請大学は筑波大学）が選定され、群馬大学も参加しています。「国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コース」では、e-learningによる教育に特徴があります。

「重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム（医科学専攻博士課程）との連携教育」

平成23年度から開始された文部科学省による「博士課程教育リーディングプログラム」に群馬大学の「重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム」が選定されました。よって、生命医科学専攻修士課程修了後に医科学専攻博士課程に合格し、その後本プログラム履修生として認定されると、最短で3年間で博士課程修了が可能になります。

「アジアにおける核医学発展のための指導的人材養成プログラム」

（文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」）

このプログラムは2013年秋入学から開始しました。

このプログラムの目的は、核医学領域における指導的な医師・医療従事者及び研究者を養成して、アジアにおける核医学の発展に寄与することです。

博士課程の志願者は、自国において医師の資格を有していることが望ましいです。さらに、放射線科専門医、核医学専門医、腫瘍放射線医であることが好ましいですが、必須ではありません。

参照 URL: http://www.med.gunma-u.ac.jp/en/anmeg/ANMEG_Program.pdf

各専攻分野等指導教員一覧（連絡先）及び研究内容

1 各専攻分野等指導教員一覧（連絡先は027-220-下記内線番号）

区分	専攻分野等名	指導教員	連絡先		
			内線	E-mail	
基礎医学系	脳神経再生生物学	平井 宏和	7930	hirai@gunma-u.ac.jp	
	病態病理学	横尾 英明	7970	hyokoo@gunma-u.ac.jp	
	神経薬理学	白尾 智明	8050	tshirao@gunma-u.ac.jp	
	遺伝発達行動学	柳川右千夫	8040	yuchio@gunma-u.ac.jp	
	分子細胞生物学	石崎 泰樹	7950	yasukiishizaki@gunma-u.ac.jp	
	生体構造学	松崎 利行	7900	matoshi@gunma-u.ac.jp	
	生化学	和泉 孝志	7940	takashi_izumi@gunma-u.ac.jp	
	機能形態学	依藤 宏	7910	yorifuji@gunma-u.ac.jp	
	応用生理学	鯉淵 典之	7920	nkoibuch@gunma-u.ac.jp	
	病態腫瘍薬理学	西山 正彦	7960	m.nishiyama@gunma-u.ac.jp	
	病理診断学	小山 徹也	7980	oyama@gunma-u.ac.jp	
	分子予防医学				
	細菌学	富田 治芳	7990	tomitaha@gunma-u.ac.jp	
	国際寄生虫病学	久枝 一	8024	hisa@gunma-u.ac.jp	
	法医学	小湊 慶彦	8030	kominato@gunma-u.ac.jp	
	公衆衛生学	小山 洋	8010	hkoyama@gunma-u.ac.jp	
	医学哲学・倫理学	服部 健司	8037	hattorik@gunma-u.ac.jp	
	臨床医学系	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	近松 一朗	8350	tikamatu@gunma-u.ac.jp
		神経精神医学	福田 正人	8180	fukuda-psy@gunma-u.ac.jp
病態制御内科学		山田 正信	8120	myamada@gunma-u.ac.jp	
泌尿器科学		鈴木 和浩	8300	kazu@gunma-u.ac.jp	
産科婦人科学		峯岸 敬	8420	tminegis@gunma-u.ac.jp	
臨床薬理学		山本康次郎	8743	koujirou@gunma-u.ac.jp	
臨床検査医学		村上 正巳	8550	mmurakam@gunma-u.ac.jp	
臓器病態内科学		倉林 正彦	8140	mkuraba@gunma-u.ac.jp	
病態総合外科学		桑野 博行	8220	hkuwano@gunma-u.ac.jp	
腫瘍放射線学		中野 隆史	8380	tnakano@gunma-u.ac.jp	
放射線診断核医学		対馬 義人	8400	yoshitotsushima@gunma-u.ac.jp	
小児科学		荒川 浩一	8200	harakawa@gunma-u.ac.jp	
リハビリテーション医学		和田 直樹	8655	nwada@gunma-u.ac.jp	
総合医療学		田村 遵一	8665	jtamura@gunma-u.ac.jp	
(医学部附属病院)					
情報医療学		斎藤勇一郎（准教授）	8771	saitoyui@gunma-u.ac.jp	
臨床試験学	中村 哲也	8740	nakamurt@gunma-u.ac.jp		
(生体調節研究所)					
遺伝子情報	山下 孝之	8830	y-taka@gunma-u.ac.jp		
細胞構造	佐藤 健	8840	sato-ken@gunma-u.ac.jp		
シグナル伝達	岡島 史和※	8850	okajima@gunma-u.ac.jp		
分泌制御	鳥居征司（准教授）	8859	storii@gunma-u.ac.jp		
細胞調節	小島 至※	8835	ikojima@gunma-u.ac.jp		
遺伝生化学	泉 哲郎	8856	tizumi@gunma-u.ac.jp		
分子細胞制御	徳永 文稔	8865	ftokunaga@gunma-u.ac.jp		
代謝シグナル解析	北村 忠弘	8845	kitamura@gunma-u.ac.jp		
ゲノム科学リソース	畑田 出穂	8057	hatada@gunma-u.ac.jp		
生体膜機能	佐藤美由紀（准教授）	8843	m-sato@gunma-u.ac.jp		
(重粒子線医学研究センター)					
重粒子線医学物理・生物学	取越 正己	8378	torikosi@gunma-u.ac.jp		
	高橋 昭久	7917	a-takahashi@gunma-u.ac.jp		
重粒子線臨床医学	大野 達也	8378	tohno@gunma-u.ac.jp		
(日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所)					
生体機能解析学	横田 涉	学務課入学試験係まで			
	小林 泰彦				
	神谷 富裕				

※平成28年3月退職予定

2 研究内容一覽

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
基 礎 医 学 系	脳神経再生医学	平井 宏和	<p>小脳をターゲットとし、生理・病態解明を行っている。とくに難病、脊髄小脳変性症については、多数のモデル動物を作成し、病態解明と幹細胞治療や遺伝子治療などの最先端治療法の開発を行っている。研究は、遺伝子改変動物作成、ウイルスベクター、電気生理（スライスパッチ）、行動解析、生化学解析など多岐にわたる。必要な機器はほぼそろっており、研究のほとんどを当研究室内で行うことが可能である。</p> <p>【key words】 再生医療、レンチウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター、小脳失調、脊髄小脳変性症、遺伝子治療、パッチクランプ、間葉系幹細胞、細胞移植</p>
	病態病理学	横尾 英明	<p>病理学には疾病の成因を追究する基礎医学としての側面と、疾病を診断・分類する臨床医学としての側面がある。当分野では特に脳神経系に光を当て、脳腫瘍や種々の神経疾患について病因究明、病理診断、新規の治療法の探索などをおこなっている。脳腫瘍の病理診断については約半世紀にわたり、我が国の事実上のナショナルセンターの役割を果たして来た。研究対象は主に人体材料であるが、脳腫瘍に関しては世界で我々のグループのみが保有する脳腫瘍好発性トランスジェニックラットも用いている。</p> <p>【key words】 神経病理学、脳腫瘍、腫瘍の分子細胞遺伝学、グリア細胞、トランスレショナルリサーチ</p>
	神経薬理学	白尾 智明	<p>シナプスは脳の高次機能を担う最小機能単位である。当分野ではアクチン細胞骨格系タンパク質のはたらきに注目して、シナプスの形態と機能の制御メカニズムを研究している。この研究を通じて、脳機能の原理の解明のみならずシナプスの機能不全を原因とする神経精神疾患及び神経細胞死に基づく神経精神疾患の診断・治療法の開発を目指している。実際の研究は主に初代神経細胞培養及び遺伝子改変マウスを用いて、細胞生物学、分子生物学、生化学、組織化学、行動科学、リアルタイムイメージング等の技術を駆使して行っている。また近年では、放射線照射及び重粒子線照射がシナプスに与える影響について研究を行っている。大学院生は、当分野での研究生活の中でこれらの手法を習得することができる。</p> <p>【key words】 シナプス可塑性、シナプス脆弱性、再生、神経細胞死、アクチン細胞骨格、ドレブリン</p>
	遺伝発達行動学	柳川 右千夫	<p>行動の生物学的基盤は、脳の回路の中にある。また、行動は多数の遺伝子と多くの環境因子およびその相互作用に依存して決定される。マウスやラットでは、遺伝や生理に関する知識が蓄積されている。当分野では、不安レベルの高いノックアウトマウスあるいは、特定の神経細胞を蛍光分子で標識したトランスジェニックラットやノックインマウスなど、様々な遺伝子改変動物の作製・解析を通して、遺伝と行動との関連についてアプローチしている。</p> <p>【key words】 遺伝、行動、脳機能、ノックアウトマウス、トランスジェニックラット</p>
	分子細胞生物学	石崎 泰樹	<p>当分野では中枢神経系の細胞の誕生から死までを分子細胞生物学的手法で研究している。神経幹細胞・ニューロン前駆細胞・グリア前駆細胞の増殖・分化・生存調節機構の解明を目指しており、とくにグリア細胞の発生・分化の機構と生理機能の解析を進めている。また神経系細胞と血管系細胞の相互作用の解析も進めている。得られた知見を中枢神経系の再生医学に応用することが究極の目標である。</p> <p>【key words】 神経幹細胞、ニューロン前駆細胞、グリア前駆細胞、グリア細胞、血管系細胞、再生医学</p>
	生体構造学	松崎 利行	<p>細胞や組織などの機能はそれらの構造と密接に関係している。細胞膜や細胞内小胞系での様々な分子の局在をバイオイメーキングの手法で可視化し、その局在や動態を解明することにより、構造と機能相関の解明をめざす。細胞膜機能分子、なかでもチャネルやトランスポーター等について様々なバイオイメーキングの手法を用いて研究をおこなっている。</p> <p>【key words】 細胞膜、水チャネル、トランスポーター、蛍光標識、バイオイメーキング、免疫組織化学、電子顕微鏡</p>
	生化学	和泉 孝志	<p>膜のリン脂質が分解されて作られる生理活性脂質は、炎症・アレルギー反応・免疫疾患・神経疾患・腫瘍などの病態形成に深く関与している。生化学では、生理活性脂質の産生とその受容体、およびリン脂質代謝に関する研究を、生化学・分子生物学的手法を用いて行っている。さらに、DNAの二本鎖切断からのシグナルの解析や、質量分析を用いたタンパク質や代謝物の網羅的解析（プロテオーム解析、メダボローム解析）を行っている。</p> <p>【key words】 脂質メデイエーター、細胞膜受容体、細胞内情報伝達、DNA二本鎖切断プロテオーム、メダボローム</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
基礎 医学 系	機能形態学	依藤 宏	<p>1) 細胞膜と筋原線維間をつなぐ膜裏打ち蛋白を含めた細胞骨格蛋白、膜融合にかかわる蛋白などの骨格筋機能分子の研究、2) 発生初期に重要な役割をもつ細胞間接着因子の研究をおこなっている。解析方法としては、分子生物学・生化学的手法に共焦点レーザー顕微鏡、電子顕微鏡による免疫組織化学、in situ hybridizationなどを組み合わせている。</p> <p>【key words】 骨格筋、筋ジストロフィー、細胞骨格、膜融合蛋白、発生、接着蛋白</p>
	応用生理学	鯉淵 典之	<p>ステロイドホルモンや甲状腺ホルモンなど脂溶性ホルモンは、脳をはじめとする身体各器官の発達や機能維持、損傷からの回復などに不可欠である。また、薬物や環境中の化学物質の中にはこれらのホルモンと化学構造が類似し、ホルモン類似作用もしくはホルモン拮抗作用により、内因性ホルモン作用をかく乱する物質がある。当分野では器官の発達・可塑性に関与する脂溶性ホルモンの作用機構、および環境化学物質や薬物による修飾作用を、遺伝子改変動物を用いた行動解析や、分子・細胞生物学的手法など種々の手法を用いて研究している。</p> <p>【key words】 ホルモン、発達、可塑性、再編成、環境因子、内分泌かく乱</p>
	病態腫瘍薬理学	西山 正彦	<p>分子標的薬の登場により、がん薬物療法は急速な進化を遂げている。がん治療薬と生体の相互作用を、分子、細胞、組織、臓器、個体のレベルを貫いて総合的に研究するとともに、新規治療（薬）の開発を目的に、ゲノムワイドな医療シーズの同定から大規模臨床評価まで、基礎研究での成果を臨床へと還元するトランスレーショナル・リサーチを展開し、画期的なゲノム創薬、バイオマーカーの同定、より効果的な育薬を目指す。</p> <p>【key words】 がん、トランスレーショナル・リサーチ、作用メカニズム、ゲノム創薬、バイオマーカー</p>
	病理診断学	小山 徹也	<p>「がん」は遺伝子病であり、がん遺伝子ならびにがん抑制遺伝子はその発生に関与する。がんの発生は遺伝子異常の積み重ねによって、細胞の形態や周囲環境が多段階的に変化し、最終的にがん細胞となることが多い。発がんやがんの進展過程における遺伝子異常を形態学的立場から明らかにし、より精度の高い病理学的診断を構築し、臨床にフィードバックすることによってがん診断治療の一翼を担うことが研究目的である。</p> <p>【key words】 がんの形態学、多段階発癌、がん遺伝子、がん抑制遺伝子、ウイルス発がん</p>
	分子予防医学		
	細菌学	富田 治芳	<p>日和見感染菌のグラム陽性腸球菌の病原性因子の研究。腸球菌は腸管に常在する典型的な日和見感染菌で、他の日和見感染菌と同様に健常者と共生関係にある。重度の易感染者において感染防御機構が障害された時、感染症を起こす。そのための病原性因子としてのバクテリオシン、細胞毒素、組織付着因子、各種薬剤耐性、接合伝達性プラスミドの分子遺伝学的、生化学的研究を行っている。</p> <p>【key words】 腸球菌、バクテリオシン、細胞毒素、付着因子、接合伝達性プラスミド、薬剤耐性</p>
	国際寄生虫病学	久枝 一	<p>マラリアを始めとする寄生虫症はエイズ・結核と並び、人類を苦しめる最も重要な感染症である。当分野ではマラリア原虫や赤痢アメーバといった重要な寄生虫（原生生物）の病原機構を分子レベルで解明している。同時にこれらの原虫に対する宿主の免疫応答も解析している。病原体と宿主の双方からアプローチすることで感染症の全貌を解明し、新規薬剤・ワクチンの開発を目指している。</p> <p>【key words】 感染症、宿主寄生体相互関係、免疫学、ワクチン創薬</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
基礎医学系	法医学	小 湊 慶 彦	<p>法医学は科学的な手法を法律上の問題解決に応用する分野である；化学、生物学、医学、歯学、統計学、人類学を含むものである。特に、我々は個人識別に焦点を当て、日本では重要な個人識別遺伝マーカーである ABO 式血液型の研究を展開している。最近、赤血球系細胞で機能する転写調節領域を同定し、その欠損や機能喪失が型 Bm の原因であることをつきとめた。</p> <p>【key words】 法医学、個人識別、ABO 式血液型、エンハンサー</p>
	公衆衛生学	小 山 洋	<p>社会環境の中で、健康を阻害する要因を減らし健康を支える要因を増やしていくことによって、人々の健康な生活に寄与する学問分野です。微量元素セレンの生体内での役割に注目してのがん予防やメタボリックシンドローム予防についての in vitro 研究や液クロ+質量分析器を用いた分析的研究、自殺予防を目的としたうつスクリーニング質問票によるうつと生活習慣との疫学調査などに取り組んでいます。</p> <p>【key words】 微量元素、セレン、がん予防、うつスクリーニング、疫学研究</p>
	医学哲学・倫理学	服 部 健 司	<p>医療という一種の限界状況の中には生身の人間の生き方に関わるなまなましい問題が渦巻いている。こうした問題を画一的機械的に扱うのではなく、個別的な事情にそくして具体的に考えようとするのが臨床倫理学である。当研究室ではこの臨床倫理学およびその教育の方法論の基礎づけを優先課題とし、解釈学ならびに文学の哲学の見地から取組んでいる。このほか、予防医学の倫理問題、医療倫理学教育、医療倫理に関わるメタ倫理学、健康や病などの医学・医療の根本概念の哲学的検討も行っている。</p> <p>【key words】 臨床倫理学、医療倫理学、医学哲学、医療倫理学教育</p>
臨床医学系	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	近 松 一 朗	<p>がんに対して生体は様々な免疫応答を起こしている。しかしながら、がんはその発生、増殖、そして臨床上に同定されるまでに生体の免疫監視から様々なメカニズムを使って逃避していく。当分野では頭頸部癌を対象にがんに対する免疫応答の仕組みとこの免疫応答を利用したがん免疫療法について取り組んでいる。また、がん微小環境におけるがん細胞と間質細胞の相互作用の研究から新たな治療ターゲットの探索を行なっている。</p> <p>【key words】 頭頸部癌、免疫抑制機構、免疫療法、がん微小環境</p>
	神経精神医学	福 田 正 人	<p>神経科学・脳科学の発展により、精神機能としての「こころ」を脳機能として捉え、環境の影響が加わり生じるその失調としての精神疾患の病因と病態を、遺伝子や脳画像で明らかにできるようになってきている。当分野は、MRI・PET・MEG・NIRS などの脳画像、ストレス反応である DST などの神経内分泌、動物モデルにおける遺伝子研究などを通じて、精神疾患のリカバリーの科学的解明を目指している。</p> <p>【key words】 精神疾患、脳画像、ストレス、こころ、脳機能</p>
	病態制御内科学	山 田 正 信	<p>日本人の死因の3分2をしめるがん並びに動脈硬化に基づく脳卒中や心筋梗塞は、生体の恒常性を維持する内分泌代謝系の破綻や種々の遺伝子異常、ウイルス感染などによって惹起される。当分野では、これらの病態をノックアウトマウスなどのモデル動物や手術検体を用いた遺伝子解析などにより解明し、新たな診断法や治療法の開発を目指している。</p> <p>【key words】 生活習慣病、内分泌代謝疾患、糖尿病、呼吸器アレルギー疾患、消化器肝臓疾患</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
臨床医 学系	泌尿器科学	鈴木和浩	<p>泌尿器科疾患の中でも、前立腺癌を中心とした悪性腫瘍の基礎研究および臨床研究に取り組んでいる。男性ホルモン依存性癌である前立腺癌の発生要因としての遺伝子の関与や、脂質の関与を、多方面から検討している。疫学的研究も、前立腺癌検診から得られた臨床データをもとに解析し、腫瘍マーカーの点から詳細に研究を進めている。</p> <p>【key words】 泌尿器科腫瘍、前立腺癌、男性ホルモン依存性、前立腺癌検診</p>
	産科婦人科学	峯岸敬	<p>生殖機能の理解のためには、視床下部-下垂体-卵巣の相互作用の理解が大切である。これらの相互作用の連携のためにホルモンが働き、ホメオスタシスを維持している。当分野では、ホルモン作用分子レベルで理解することを目標として、新しい生理活性物質の発見、その作用機序について検討し、特に、ホルモンのレセプターへの結合とその後の作用機序解明のために、レセプターの構造と機能について分子生物学的手法を用いて研究している。</p> <p>【key words】 LHレセプター、FSHレセプター、突然変異、細胞内情報伝達、サイトカイン、アクチビン</p>
	臨床薬理学	山本康次郎	<p>薬物療法は患者ごとに最も適した選択が行われることが重要であるが、新しい戦略に基づく医薬品の急激な開発などに伴い、未解明の問題が山積している。当分野では様々な疾患の薬物療法において、薬効を変動させる要因を薬物の吸収、分布、代謝、排泄などの動態および遺伝子多型の側面から研究して、安全で有効な薬物療法の確立を目的にしている。</p> <p>【key words】 臨床薬理、薬物動態、遺伝子多型、薬物療法の個別化</p>
	臨床検査医学	村上正巳	<p>現代の医療ならびに予防医学は、臨床検査に基づいた Evidence Based Medicine を目指しており、臨床検査医学は医学のあらゆる領域が研究対象となる。当分野では、新たな検査方法や遺伝子解析に基づいた生活習慣病に関する予防医学、糖尿病や甲状腺疾患などの内分泌代謝疾患の病態、動脈硬化のメカニズム、スポーツ医学や感染症に関する研究を幅広く行っている。</p> <p>【key words】 生活習慣病、遺伝子、糖尿病、甲状腺、動脈硬化、感染症、スポーツ医学、臨床検査</p>
	臓器病態内科学	倉林正彦	<p>循環器系、呼吸器系の生理機能、およびその異常に基づく疾患の病態生理について分子・遺伝子から個体に至るまで系統的に解明することを目的としている。また、人口の高齢化、社会生活の欧米化に伴って動脈硬化、心不全および閉塞性動脈硬化症の罹患者数は増加の一途であり、有効な対策の構築は緊急の課題である。この分野に対する社会の要請は大きく、新規の有効な診断法・治療法を開発することにも取り組んでいる。</p> <p>【key words】 血管細胞学、動脈硬化、心不全、心筋梗塞、転写因子</p>
	病態総合外科学	桑野博行	<p>腫瘍学の基礎的な知識と概念を理解させ、腫瘍が局所で増殖・浸潤しさらに転移を起こすに至る各段階において関連する様々な因子について、最近の知見を含めて概説する。また最近の腫瘍の診断と治療の進歩についても理解させ、臨床における問題点を明らかにした上で、将来に向けての外科学における新たな診断および治療法の開発に必要な基本的な実験的手法を学習する。</p> <p>【key words】 外科腫瘍学、転移のメカニズム、診断・治療、浸潤増殖</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
臨床 医学 系	腫瘍放射線学	中野 隆 史	<p>癌の放射線治療を包括的に実践するとともに、基礎研究としては1) 放射線誘発アポトーシスの解明、2) 細胞周期制御因子、細胞増殖因子、がん関連遺伝子、血管内皮細胞を標的とした放射線感受性修飾の研究、を行っている。臨床研究としては、1) 放射線・分子標的治療薬併用療法の臨床的有用性に関する臨床研究、2) 遠隔操作式腔内・組織内照射法の高精度化の臨床研究、3) 重粒子線照射技術開発と臨床応用研究等の重粒子線治療の確立、に取り組んでいる。</p> <p>【key words】 放射線治療、放射線生物学、重粒子線治療、臨床腫瘍学、放射線病理学</p>
	放射線診断核医学	対馬 義 人	<p>X線CTの発見をきっかけとして画像診断は目覚ましく進歩し、現代の医学においては画像診断が欠かせないものとなった。CTの他、MRI、US、PET、SPECTなどである。さらに画像診断を利用した治療であるIVR（インターベンショナルラジオロジー）や核医学治療も患者への負担が少なく、患者のQOLに貢献するため、今後の発展が期待される。当分野では形態画像と機能画像の融合など新しい画像診断の研究およびIVR、核医学治療など患者に優しい治療の開発に取り組んでいる。</p> <p>【key words】 画像診断、核医学、CT、MRI、US、SPECT、PET、IVR</p>
	小児科学	荒川 浩 一	<p>クロマチンは、全長2メートルにも及ぶゲノムDNAとヒストンなどのタンパク質からなる巨大構造体である。この巨大な構造体が、その多彩な機能を維持しつつ直径約10ミクロンの細胞核にどのように収納されているか、の理解はきわめて重要である。当分野では、特にクロマチンの核内配置と修飾に着目し、これらと遺伝子調節との関連を神経細胞の分化過程、および分化したニューロンの機能に着目し研究している。</p> <p>【key words】 クロマチン、核構造、エピジェネティクス、転写調節、神経細胞</p>
	リハビリテーション医学	和田 直 樹	<p>疾病によりもたらされる運動器官や感覚器、精神の障害の原因と、その障害が日常生活動作および社会生活にどのように影響し、それをどのように克服するかを研究する。研究手段としては、実際の臨床の場における急性期、慢性期の患者を対象にした3次元動作解析装置（バイコム）、呼気ガス分圧測定装置、外乱刺激付重心動揺計、等速性筋訓練測定装置（サイベックス）、筋電計等を用いた障害の定性的、定量的評価を行う。</p> <p>【key words】 リハビリテーション医学、障害学、3次元動作解析装置、筋電図</p>
	総合医療学	田村 遵 一	<p>生命医科学専攻（修士課程）においては、総合医療学として主に老年医療問題の研究に取り組む予定である。特に高齢者の栄養と疾病、けがの関連性、特に微量元素接種不足が免疫系、感染に与える影響について検討する。また、老年者の医療、介護のより良いシステムについて考察し、社会に提言して行きたい。</p> <p>【key words】 総合医療、老年学、プライマリーケア、栄養法</p>

協力・連携講座

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
医学部 附属 病院	情報医療学	斎藤 勇一郎 (准教授)	<p>現代の医療・保健・福祉において適切なサービスを提供するためには、医療システム全体に情報技術を適用し、情報の標準化と部門間の連携を保ち、運用を行わなければならない。当分野では、医療管理学や情報医療学に関する基礎知識を獲得するとともに、診療情報や医療情報の取り扱いに関する基礎的素養を与えることを目的とする。</p> <p>【key words】 診療情報管理、医療サービス、病院情報システム</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
医学部 附属病院	臨床試験学	中村 哲也	<p>治験及び臨床研究の推進と質の向上により、国民の健康に貢献し、医療における実用化技術を世界に発信することを目標としている。多くの治験及び臨床研究の実践を通して、クリニカル・クエスチョン、臨床研究デザイン、データ・マネジメント、生物統計学、レギュラトリーサイエンスのスキルを磨き、臨床試験学の学術的発展に貢献することを見据えている。新規医療技術開発と臨床エビデンスの確立を目指した研究を展開する。</p> <p>【key words】 臨床研究デザイン、レギュラトリーサイエンス、生物統計学</p>
生 体 調 節 研 究 所	遺伝子情報	山下 孝之	<p>細胞は、環境に由来する外的ストレスだけでなく細胞自身が作り出す内的ストレスを受けて、老化、死、ゲノム不安定性などを示す。このようなストレス応答の仕組みを解明することは、加齢にともなう疾患やがんの病態を理解し、その治療法を開発する上にきわめて重要である。私たちは、特に DNA 複製ストレスに対応する分子機構と、蛋白損傷ストレスに対応する熱ショック応答系に焦点を当てて、細胞の老化とがん化のメカニズムを研究している。</p> <p>【key words】 複製ストレス、熱ショック応答、細胞老化、ゲノム不安定性、発がん</p>
	細胞構造	佐藤 健	<p>細胞外へのタンパク質の分泌や細胞外からの物質の取り込みなどにはたらく膜区画は大きく分けて小胞体、ゴルジ体、エンドソーム、リソソームそして無数の小胞から構成され、それぞれが独自の機能を果たすことによって細胞内における秩序だった物質輸送を可能としている。これらの膜区画間の物質輸送を担うのが小さな膜に包み込まれた輸送小胞である。この輸送小胞を介した物質輸送は単に細胞レベルの分泌や取り込みだけではなく、内分泌や代謝の制御といった動物個体の恒常性維持や組織形成、個体発生などといった高次生命現象において重要な役割を担っている。当分野では線虫 <i>C. elegans</i> やマウスなどのモデル動物を用いて、このような高次生命現象における細胞内物質輸送機構の生理的役割と分子メカニズムの研究を行っている。</p> <p>【key words】 細胞内物質輸送、分泌、脂質代謝、発生、線虫、ノックアウトマウス</p>
	シグナル伝達	岡島 史和 ※	<p>生理活性物質、特にスフィンゴシン 1-リン酸 (S1P)、リゾホスファチジン酸 (LPA) などの脂質性メディエーターの産生、動態制御、作用機構を解析し、その生理機能ならびに動脈硬化症、アレルギーなどの炎症性疾患、内分泌、神経機能疾患、癌など各種疾患との関連を調べる。また、細胞外 pH を感知する新しい G 蛋白連関受容体システムの解析とその生理的、病態生理学的役割を明らかにする。</p> <p>【key words】 スフィンゴシン 1-リン酸、脂質性メディエーター、プロトン感知性受容体、リポ蛋白質、動脈硬化症</p>
	分泌制御	鳥居 征司 (准教授)	<p>内分泌細胞の障害やその機能低下は様々な内分泌・代謝疾患の要因である。神経内分泌細胞の増殖や細胞死、ペプチドホルモンの産生・分泌等の仕組みを明らかにし、病態の理解と予防・治療法の開発を目指している。また共同研究・学際研究を積極的に行っており、がん・脳梗塞などの低酸素病態を感知するプローブや、糖尿病リスクの診断技術の開発を進めている。</p> <p>【key words】 内分泌細胞、神経細胞、ペプチドホルモン、インスリン、分泌顆粒、蛍光プローブ、イメージング</p>
細胞調節	小島 至 ※	<p>臓器・組織の発生や再生過程を調節する増殖因子・分化誘導因子の作用や作用機構を研究している。これを通じて臓器・組織の修復・再生過程や臓器線維化のメカニズムを解明するとともに、その応用として再生医療を確立することを目指している。とくに肝臓・膵臓の再生を中心に研究を進めている。</p> <p>【key words】 再生医学、増殖因子、分化誘導因子、線維化</p>	

※平成28年3月退職予定

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
生 体 調 節 研 究 所	遺 伝 生 化 学	泉 哲 郎	<p>本分野は、モデル動物の遺伝学的解析や、病態に関わる組織・細胞に発現する遺伝子の機能解析を通して、糖尿病・肥満症などの成因・発症機構や病態生理を、分子・細胞・個体レベルで解明する。現在、インスリン分泌顆粒の開口放出機構、脂肪細胞の脂質蓄積機構、免疫アレルギー疾患における調節性分泌の役割、などについて研究している。独自に見出した分子の機能や新規現象を、分子生物学、生化学、形態学、遺伝学、発生工学などの実験手法を総合的に駆使して解析する。</p> <p>【key words】 遺伝子変異マウス、調節性分泌機構、内分泌代謝疾患、ライブ・セル・イメージング、セル・ソーティング</p>
	分子細胞制御	徳 永 文 稔	<p>NF-κB 経路は炎症応答や自然・獲得免疫制御に重要なシグナル伝達経路であり、その機能不全は癌、炎症性疾患、自己免疫疾患、生活習慣病、神経変性疾患など多くの病態惹起に連関する。本分野では、NF-κB 経路制御に関わるユビキチン化など時空間特異的な翻訳後修飾の寄与や、機能不全によって引き起こされるプログラム細胞死の解明を行っている。さらに、遺伝子改変マウスを用いた病態発症機構の解析及び創薬標的分子の同定を目指している。</p> <p>【key words】 炎症、免疫制御、シグナル伝達、翻訳後修飾、プログラム細胞死</p>
	代謝シグナル解析	北 村 忠 弘	<p>当分野では、メタボリック症候群が発症する分子メカニズムを、主に遺伝子改変動物（ノックアウトマウス、トランスジェニックマウス）を用いて遺伝子転写のレベルで解明し、糖尿病や肥満症に対する新しい治療法、あるいは予防法の開発に貢献すべく研究を行っている。</p> <p>【key words】 糖尿病、転写因子、遺伝子改変マウス、膵ベータ細胞、視床下部、肥満、膵アルファ細胞</p>
	ゲノム科学リソース	畑 田 出 穂	<p>ゲノムが同じでも表現型、症状が一緒にならない現象をエピジェネティクスといい、その実体の遺伝子の修飾をエピゲノムという。当分野でエピゲノム研究をおこなっている。エピゲノムの変化は、癌をはじめ糖尿病、統合失調症など様々な疾患に関与していると考えられているとともに再生医療などにおいても重要な役割をはたしている。当分野では新たに開発した網羅的エピゲノム解析法を用いて癌、生活習慣病、再生医療のエピゲノム研究にとりくんでいる。</p> <p>【key words】 エピジェネティクス、エピゲノム、DNA メチル化、マイクロアレイ、網羅的解析</p>
	生 体 膜 機 能	佐 藤 美 由 紀 (准教授)	<p>細胞膜やオルガネラの形態や組成は細胞の分化や細胞外環境の変化に伴い常に動的な制御を受けている。本分野ではモデル生物である線虫 <i>C. elegans</i> を使い、動物の初期胚発生におけるオルガネラ等膜成分のダイナミクスやその生理的意義の解明を目指している。最近では特に受精直後に誘導されるオートファジーやエンドサイトーシスといったリソソーム分解系に注目し、遺伝学、細胞生物学、ライブイメージングなどの手法を用いて解析を行っている。</p> <p>【key words】 線虫、胚発生、オルガネラ、オートファジー、エンドサイトーシス</p>
重 粒 子 線 医 学 研 究 セ ン タ ー	重 粒 子 線 医学物理・生物学	取 越 正 己 高 橋 昭 久	<p>生命本分野では、重粒子線およびX線治療の高度化研究、信頼性向上研究等を通して放射線治療の信頼性確保に不可欠な医学物理分野の研究者の育成を目指している。また、培養細胞や動物を用いてX線または重粒子線の放射線照射実験を行い、細胞レベルや生体内に誘発されるさまざまな現象を解明し、より高度で効果的な治療を目指して研究を行っている。これらの研究に精通した放射線治療に関する生物研究者の育成もこの分野の重要な目的である。</p> <p>【key words】 放射線治療、粒子線治療、重粒子線治療、医学物理、加速器、放射線生物学</p>

区分	分野名	指導教員名	主たる研究内容及びキーワード
重粒子線医学研究センター	重粒子線臨床医学	大野 達也	<p>重粒子線は光子線（X線やガンマ線）に比べて生物学的な線量分布に優れるという特長を有し、臨床医学においては主に悪性腫瘍に対する治療として用いられる。本分野では、臨床腫瘍学や光子線を含む放射線腫瘍学の知見に基づき、どのような病態に対して重粒子線治療が有効であるかについて学ぶ。また、重粒子線治療の特長を活かし、治療性成績の向上に結びつけるために必要な技術開発について、放射線生物学、腫瘍病理学、医用工学、画像誘導治療学などの観点から研究を行う。</p> <p>【key words】 臨床腫瘍学、放射線腫瘍学、重粒子線治療、高精度放射線治療、集学的がん治療</p>
高崎量子力研究開発機構	生体機能解析学	横田 渉 小林 泰彦 神谷 富裕	<p>高崎量子応用研究所のイオンビーム照射施設において、イオンビームの物理的、生物学的作用の特徴を利用し、分子・細胞・器官の各レベルにおいて従来の技術では困難だった生体機能解析の実現に繋がる研究開発を実施している。主なテーマは、イオンマイクロPIXE（特性X線分光）分析技術の高度化、顕微鏡観察下の特定の細胞や生体組織を数～数百 MeV 重イオンにより数ミクロンの精度で狙い撃つ単一イオン照射技術の開発、ヒト正常細胞、がん細胞、免疫細胞などへの直接の重イオンの照射効果及び周囲の照射されなかった細胞に誘発されるバイスタンダー効果の分子機構の研究である。</p> <p>【key words】 イオンビーム、マイクロビーム、マイクロPIXE、単一イオン照射、細胞照準照射、ラジオマイクロサージェリー、バイスタンダー効果</p>

出願関係書類様式

Application-Related Forms

- ◆入学願書・履歴書
Application Form and Curriculum Vitae
- ◆志願理由書
Statement of Purpose
- ◆検定料振込用紙
Examination Fee Transfer Forms
- ◆振込金受付証明書・
検定料収納証明書貼付台紙
Sheet for Certificate of Transfer Receipt,
Certificate of Payment
- ◆写真票・受験票
Photograph Card, Examination Card
- ◆受験承諾書（該当者のみ）
Written approval for taking examination
(only a person concerned)
- ◆宛名票
Name and Address Card
- ◆入学資格審査申請書（該当者のみ）
Application for the screening for admission requirements
(only a person concerned)
- ◆研究歴証明書（該当者のみ）
Certificate of Research Activities
(only a person concerned)

※本様式は本学大学院医学系研究科・医学部ホームページ
(<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>)に掲載しております。
必要な方はそちらも御利用ください。

※The above forms are posted on the website of Graduate
School of Medicine/School of Medicine, Faculty of
Medicine, Gunma University (<http://www.med.gunma-u.ac.jp/>). If you need them, please use the website as well.

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)
入 学 願 書 (第2次)

2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program)
Application Form (Secondary)

受験番号 Examinee's Number	※				
フリガナ 氏名 Name				性別 Sex	男・女 Male Female
生年月日 Birth Date	(西暦) A. D.	年 Year	月 Month	日 Day	年齢 Age
志望する専攻分野 Desired Major Field	第一志望 The first choice	分野 Major Field	第二志望 The second choice	分野 Major Field	
国籍 Nationality	(外国籍の者のみ記入) (Fill in the name of a country if you are a person of foreign nationality)				
現住所 (入試に関する確実な連絡先) Current Address (contact address for receiving information about entrance examination without fail)	〒 — Postal Code	TEL 携帯 E-mail	— — —	— — —	
出身大学又は学位取得年月日等 (出願資格に該当する大学・学部名等を記入) University etc. graduated (I fill in a university, department name corresponding to an application qualification)	大学の名称 Name of the university 国立 National 公立 Public 私立 Private	University 大学	Department 学部	Subject 学科	昭和 平成 Year 年 Month 月 Graduation 卒業 (卒業月記入)
	学位を授与された機関の名称及び取得年月日 機関名	The name of an engine conferred a degree on and the acquisition date 昭和 平成 Year 年 Month 月 Graduation 卒業 (卒業月記入)			
本人以外の入試に関する連絡先(家族等) Contact address for exam other than your current address (such as your family address)	氏名 Name			続柄 Relationship	
	現住所 Current Address				
履 歴 事 項 Personal History					
学歴 (Educational Background)	年 月 日 入学～	年 月 日 卒業	高等学校 (中等教育学校) Upper Secondary School (Secondary Educational School)		
	Year Month Day (Admission)	Year Month Day (Graduation)			
	年 月 日 入学～	年 月 日 卒業			
	Year Month Day (Admission)	Year Month Day (Graduation)			
	年 月 日 入学～	年 月 日 卒業			
Year Month Day (Admission)	Year Month Day (Graduation)				
職歴 (Professional Background)	年 月 日～	年 月 日			
	Year Month Day	Year Month Day			
	年 月 日～	年 月 日			
	Year Month Day	Year Month Day			
	年 月 日～	年 月 日			
Year Month Day	Year Month Day				

〔記入上の注意〕

- 必要事項は、青又は黒のボールペンを用いて楷書で正確に記入してください。
- 有職者の方は、職歴欄に勤務先及び職業を詳細に記入してください。
- 現住所は、通知・照会等を確実に受けとることができる場所を記入してください。
- ※欄は記入しないでください。
- 学歴欄には研究生、専攻生等の履歴も記入してください。
- 志望する専攻分野名の第一志望は、必ず記入してください。

【Notes on filling in】

- Fill in the above application form in the block style and accurately by using a blue or black ball-point pen.
- Fill in your working place and occupation minutely if you are a working person.
- Fill in the current address where notice and inquiry, etc. can be received without fail.
- Do not fill in the "※box."
- Fill in the "Educational Background box" with your background such as research student, post-graduate student, etc.
- Write your first choice in the Desired Major Field column.

切 り と り 線 (Perforated line)

履 歴 書 (Curriculum Vitae)

Educational background (学歴)

外国の学校を卒業又は卒業見込みの者は記入

The person who has graduated or will graduate from a school in foreign countries.

	Name and Address of School (学校名及び所在地)	Year and Month of Entrance and Completion (入学及び卒業年月)	Duration of Attendances (修学年数)	Diploma or Degree awarded, Major Subject, Skipped years/levels (学位・資格、専門科目、 飛び級の状況)
Elementary Education (初等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
Elementary School (小学校)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Secondary Education (中等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
Lower Secondary School (中学)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Upper Secondary School (高校)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Higher Education (高等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	*-1
Undergraduate Level (大学)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Graduate Level (大学院)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Total number of years of the aforementioned schooling (以上を通算した全学校教育修学年数) As of April 1, 2016 (2016年4月1日現在)			_____ Years and _____ months (年) (月)	

Employment History (Begin with the most recent employment history, if applicable.) (職歴)

Name and Address of Employer (勤務先及び所在地)	Period of Employment (在職期間)	Position (役職名)	Type of Work (職務内容)
	From		
	To		
	From		
	To		

* If the blanks above have not sufficient space to be filled in, write on another appropriate sheet and attach it.
(注) 上欄に書き切れない場合には、適当な別紙に記入して添付すること。

- Notes: 1. Kindergarten education and nursery school education are not included. (幼稚園・保育所教育は含まれない。)
2. So-called "daigaku-yobi-kyoiku (preparatory education for university admission)" is included in upper secondary school.
(いわゆる「大学予備教育」は中等教育に含まれる。)
3. If the applicant has passed the university entrance qualification examination, fill in that effect in *-1 column.
(「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨を*-1欄に記入すること。)
4. If the so-called "grade-skipping" has been carried out, write that effect in the applicable column, "Diploma or Degree awarded, Major Subject, Skipped years and levels". (Example: Graduated in a short period of time by skipping the third year of upper secondary school)
(いわゆる「飛び級」をしている場合には、その旨を該当する教育課程の「学位・資格、専門科目、飛び級の状況」欄に記載すること。
(例: 高校3年次を飛び級により短期卒業))

日付 (Date)

出願者名前 (Name)

出願者署名 (Signature)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)
志願理由書(第2次)

2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program)
Statement of Purpose (Secondary)

※欄は記入しないでください
Do not fill in the "※box."

フリガナ 氏名 Name		受験番号 Examinee's Number ※

切
り
と
り
線
(Perforated line)

A large empty rectangular box with a solid black border, occupying most of the page. This is the area intended for the applicant to write their statement of purpose.

(※日本国内のみ使用可能)
(※The forms below are available only in Japan)

2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine,
Gunma University (Master's Program) Examination Fee Transfer Forms (Secondary)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科
生命科学専攻(修士課程)検定料振込用紙(第2次)

注意事項

- 振り込みは、下記の本学専用の検定料振込用紙を使用し、最寄りの金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください(ゆうちょ銀行からは振り込まないでください)。ATM(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からは振り込まないでください。
- 太枠の中をボールペンで御記入ください(鉛筆書きのものは不可)。
- 振込手数料は振込人負担となります。
- 添付用(大学提出用)の「振込金受付証明書」に金融機関出納印が押してあることを確認し、『振込金受付証明書・検定料収納証明書貼付台紙』に貼付し出願書類に同封してください。
- 振込金受取書は本人の控えとして、大切に保管しておいてください。

- Notes:
- The payment must be made at a teller's window of your nearest bank as wire transfer using the below Examination Fee Transfer Forms issued by our University (the payment cannot be made at post office). You are not supposed to make the payment by using ATM (automatic teller machine), cell phone, or the Internet.
 - Fill out the thick-bordered boxes by using a ball-point pen. (The forms written in pencil are unacceptable.)
 - A bank transfer fee will be borne by a person who pays the fee.
 - Confirm that the "Certificate of Transfer Receipt" provided (for being submitted to University) is sealed by financial institution and paste it on the "Sheet for Certificate of Transfer Receipt" and be sure to enclose it with the admission documents.
 - Make sure you keep the transfer receipt as your own duplicate with good care.

添付用(大学提出用)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)検定料振込用(第2次)
振込金受付証明書

平成	年	月	日	円
				¥ 3 0 0 0 0
金額				
御受取人	東和銀行 前橋北支店(普通) 3169574 群馬銀行 堅町支店(普通) 1186984 三井住友銀行 前橋支店(普通) 5062657 おなまえ			
御依頼人	群馬大学			
整理番号	5003			
志願者名	(フリガナ)			
学部署	群馬大学大学院医学系研究科 生命医科学専攻(修士課程)			
・振込金受付証明書・検定料 収納証明書貼付台紙に貼付し てください。		金融機関出納印		
・金融機関の出納印のない場 合は無効となります。				
・金額を訂正したものは、鉛筆 書きのものは無効となります。 (取扱店→依頼人→大学)				

平成	年	月	日	円
				¥ 3 0 0 0 0
金額				
御受取人	東和銀行 前橋北支店(普通) 3169574 群馬銀行 堅町支店(普通) 1186984 三井住友銀行 前橋支店(普通) 5062657 おなまえ			
御依頼人	群馬大学			
整理番号	5003			
志願者名	(フリガナ)			
備考		手数料		
上記の金額正に受取りました。 (取扱店) 銀行 店		金融機関出納印		
		収入 印紙		

○振込依頼書に記載の振込先等の不備がある場合には、照会等のために振り込みが遅延することがあります。
○やむを得ない事由による通信機器回線の障害によって振り込みが遅延することがあっても当行は責任を負いません。

【志願者保管】(取扱店→依頼人)

(切)と(折)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)検定料振込用(第2次)
振込金受取書

平成	年	月	日	円
				¥ 3 0 0 0 0
金額				
御受取人	東和銀行 前橋北支店(普通) 3169574 群馬銀行 堅町支店(普通) 1186984 三井住友銀行 前橋支店(普通) 5062657 おなまえ			
御依頼人	群馬大学			
整理番号	5003			
志願者名	(フリガナ)			
備考		手数料		
上記の金額正に受取りました。 (取扱店) 銀行 店		金融機関出納印		
		収入 印紙		

○本領のみにだけボールペンで御記入ください。
○ATM(現金自動預払機)は御記入しないでください。
○振込手数料は御依頼人負担となります。

*取引銀行へのお願い

御依頼人名の前に整理番号を必ず打電してください。(取扱店保管)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)検定料振込用(第2次)
振込依頼書

御依頼日	平成	年	月	日	電	信	報	手	数	料
振込先	東和銀行 前橋北支店(普通) 3169574 群馬銀行 堅町支店(普通) 1186984 三井住友銀行 前橋支店(普通) 5062657 (フリガナ) (おなまえ)				金額			¥ 3 0 0 0 0		
御受取人	群馬大学			内		訳				
整理番号	5003			出納印又は振替印						
志願者名	(フリガナ)			(電話)						
おとこ										

○デパート入力時は、下記番号を必ず打電してください。
○振込手数料は御依頼人負担となります。

受験番号 ※

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程) 振込金受付証明書・検定料収納証明書貼付台紙(第2次)

1. 金融機関からの支払い

2. コンビニエンスストアでの支払い

3. クレジットカードでの支払い

『振込金受付証明書』

『検定料収納証明書』

貼付欄

貼付欄

ここに貼付する

- 出願時において国費外国人留学生（日本政府）である者
（該当者は○をつけてください。検定料は不要です。）
- 東日本大震災及び風水害等の災害罹災者である者（検定料免除申請者）
（該当者は○をつけてください。検定料は不要です。）

◆次のいずれかの方法により支払ってください。

1. 金融機関（ゆうちょ銀行を除く）からの支払い

- (1) 本募集要項に添付してある検定料振込用紙（様式3）により、所定の金額を必ず金融機関窓口から振り込み、「振込金受付証明書（大学提出用）」を受領してください。なお、振込手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。
- (2) 「振込金受付証明書（大学提出用）」を本台紙の所定の欄に貼り付けてください。
- (3) 振込金受取書は本人の控えとして、大切に保管しておいてください。
- (4) 振込取扱期間 平成27年12月18日（金）から平成28年1月8日（金）15時まで
- (5) 金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの及び鉛筆書きのものは無効になります。また、ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。

2. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください）

- (1) 13頁「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
- (2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。
- (3) 支払期間 平成27年12月18日（金）から平成28年1月8日（金）15時まで（「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前まで）

3. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください）

- (1) 13頁「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
- (2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。
- (3) 支払期間 平成27年12月18日（金）から平成28年1月8日（金）15時まで ※英文は裏面を御覧ください
English reference, please turn over.

切

と

り

線

(Perforated line)

様式 5
(Form-5)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)
2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine,
Gunma University (Master's Program)

写真票(第2次) Photograph Card (Secondary)

受験番号 Examinee's Number	※
フリガナ	
氏名 Name	
志望 専攻分野 Desired Major Field	第一志望 The first choice 第二志望 The second choice

写真
Photograph

(全体のりを付けて貼ってください)
1. タテ 4 cm、ヨコ 3 cm
上半身脱帽、正面向、出願
前3カ月以内に単身撮影した
もの。
2. 写真の裏面へ氏名を記入し
て貼ってください。
(Paste the photograph over this column)
1. L4 cm × W3 cm
uncovered head
Taken within three month
prior to the application
2. Write your name on the back
of the photograph and paste it.

切りとらないでください (Don't cut off here.)

様式 6
(Form-6)

平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)
2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine,
Gunma University (Master's Program)

受験票(第2次) Examination Card (Secondary)

受験番号 Examinee's Number	※
フリガナ	
氏名 Name	
志望 専攻分野 Desired Major Field	第一志望 The first choice 第二志望 The second choice

[受験上の注意]

1. 受験者は、必ず受験票を携帯してください。
2. 受験者は、試験開始30分前(9時30分)までに試験室に集合してください。
3. 試験室では受験番号と同じ番号の席に着席し、受験票を机上右上隅に置いてください。
4. 試験開始後30分以内の遅刻は認めませんが、試験時間の延長は認めません。
5. その他、受験に關する細部の注意事項は、試験室において指示します。

[Notes when taking the examination]

1. Examinee must carry his/her examination card.
2. Examinees must assemble in the examination room by up to 30 minutes (by 9:30 a.m.) before the start of the examination.
3. In the examination room, sit at the seat which your examinee's number is posted on and place your examination card on the top right corner of the desk.
4. Lateness within 30 minutes after the start of the examination will be accepted, but the test time shall not be extended.
5. Other detailed notes about the examination will be directed at the examination room.

切

り

と

線

(Perforated line)

[Notes when filling in the cards]

1. Necessary matters must be filled in accurately and in the block style by using a blue or black ball-point pen.
2. Do not fill in the "※ box."
3. Write your first choice in the Desired Major Field column.

線

り

と

線

(Perforated line)

(群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)平成28年度第2次用)
(2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program) (Secondary))

受験承諾書 Written approval for taking examination

氏名 (Name) _____

生年月日 (Birth Date) _____
(西暦) A.D. 年 Year 月 Month 日生 Day

職名 (Official Title) _____

上記の者が、平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻
(修士課程) の入学試験を受験することを承諾します。

I approve of the above person's taking the entrance examination for entry into Course of
Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program)
in 2016.

年 月 日
Year Month Day

群馬大学長 殿
To President of Gunma University

所属長又は任命権者 _____ 職印
Supervisor or Appointer _____ Official Seal

所属機関 _____
Institution the Examinee Belongs to

所在地 _____
Address of the Institution

電話番号 _____
Telephone Number

切
り
と
り
線
(Perforated line)

宛 名 票

Name and Address Card

- ◎ 志願者は本票を学生募集要項記載の出願書類と一緒に必ず提出してください。
- ◎ 楷書で丁寧に記入してください。
- ◎ 切りとり線で切り離して、そのまま提出してください。
(ホームページから用紙を入手した方は、そのまま記入してください。)

入試に関する確実な受信場所を記入してください。
場所がアパート、団地等の場合は「様方」の欄にアパート、団地名等記入してください。
※欄は記入しないでください。

◎Applicant must submit this card with the application documents mentioned in the Admission Guidelines.

◎Fill in this card neatly and in the block style.

◎Detach the sheet on the perforated line and submit it.

(If you obtained the form from the homepage, fill in it.)

Fill in the place for receiving information about entrance examination without fail.

If the above place indicates a flat or a housing complex, etc., fill in the name of a flat or a housing complex, etc. in the "c/o box".

Do not fill in the "※box."

切
り
と
り
り
線
(Perforated line)

受験番号 Examinee's Number

※

左欄に、郵便番号、住所、氏名
を記入してください。

Fill in postal code, current address
and name in the left column.

□□□ - □□□□
様方 c/o
様
Mr. / Ms.

受験番号 Examinee's Number

※

左欄に、郵便番号、住所、氏名
を記入してください。

Fill in postal code, current address
and name in the left column.

□□□ - □□□□
様方 c/o
様
Mr. / Ms.

(群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)平成28年度第2次用)
(2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program) (Secondary))

年 月 日
Year Month Day

群馬大学長 殿
To President of Gunma University

氏 名 (Name) _____

生年月日 (Birth Date) (西暦) 年 月 日生
A.D. Year Month Day

現住所 (Current Address) _____

郵便番号 (Postal Code) _____

電話番号 (TEL) _____

E-mail _____

入学資格審査申請書 (Application for the screening for admission requirements)

私は、平成28年度群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)入学試験を受験したいので、下記により入学資格審査をお願いします。

I wish to take the entrance examination for entry into Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University in 2016 and request the screening of admission requirements under the following conditions.

記

Description

- 1 該当する入学資格審査
次のいずれに該当するかについて、当該項目の番号を○で囲んでください。
 - (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第102条第2項の規定により本大学院以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (2) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに22歳に達するもの
- 2 希望する専攻分野名

第1志望 ()	()
第2志望 ()	()
- 3 添付書類
本申請書に添付した書類の番号を○で囲んでください。
 - (1) 上記(1)の該当者
 - ア 成績証明書
(出身校の長が作成し、厳封したもの。)
 - イ 在学証明書
(在学年次が明記されているもの。)
 - ウ 研究業績がある場合は、その業績(論文等)
 - エ その他の書類
()
 - (2) 上記(2)の該当者
 - ア 研究歴証明書(本要項添付の用紙(様式10)によります。)
 - イ 研究業績又はその他顕著な業績がある場合は、その業績(論文等)
 - ウ 最終学校(短期大学、専修学校又は各種学校等)の卒業又は修了証明書
 - エ 最終学校(短期大学、専修学校又は各種学校等)の成績証明書
 - オ その他の書類
()

- 1 The screening of admission requirements that fall under the applicant.
Circle the applicable number of the items described below.
 - (1) A person who entered a graduate school other than our Graduate School based on the provisions of Article 102-2 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947) and who has been recognized by our Graduate School as having academic abilities appropriate for receiving graduate school education.
 - (2) A person who has been recognized by our Graduate School as having academic abilities equivalent or superior to a person who has graduated a university based on the results of individual examination of the applicant's qualifications, and who will be 22 years of age by March 31, 2016.
- 2 Desired major field

First choice ()	()
Second choice ()	()
- 3 Attached documents
Circle the number of the document attached to this application.
 - (1) Applicant who falls under the above (1)
 - a. Academic transcript (issued by the presidents of the university and the graduate school from which you graduated and sealed.)
 - b. Student registration certificate (in which the applicant's enrolled period is specified)
 - c. Published academic papers etc. on research achievements, if any.
 - d. Other documents ()
 - (2) Applicant who falls under the above (2)
 - a. Certificate of Research Activities (The form attached to our admission guidelines must be used. [form-10])
 - b. Published academic papers etc. on research achievements or other remarkable achievements, if any.
 - c. Graduation Certificate or Completion Certificate issued by the final educational institution (including a junior college, an advanced vocational school or a vocational school, etc.) from which the applicant graduated.
 - d. Academic transcript issued by the final educational institution (including a junior college, an advanced vocational school or a vocational school, etc.) from which the applicant graduated.
 - e. Other documents ()

裏面の履歴書も記入すること

The curriculum vitae on the reverse side shall also be filled in.

切

り

と

り

線

(Perforated line)

履 歴 書 (Curriculum Vitae)

Educational background (学歴)

	Name and Address of School (学校名及び所在地)	Year and Month of Entrance and Completion (入学及び卒業年月)	Duration of Attendances (修学年数)	Diploma or Degree awarded, Major Subject, Skipped years/levels (学位・資格、専門科目、 飛び級の状況)
Elementary Education (初等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
Elementary School (小学校)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Secondary Education (中等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
Lower Secondary School (中学)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Upper Secondary School (高校)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Higher Education (高等教育)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	*-1
Undergraduate Level (大学)	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Graduate Level (大学院)	Name (学校名)	From (入学)	Years (年)	
	Address (所在地)	To (卒業)	and months (月)	
Total number of years of the aforementioned schooling (以上を通算した全学校教育修学年数) As of April 1, 2016 (2016年4月1日現在)			_____ Years and _____ months (年) (月)	

Employment History (Begin with the most recent employment history, if applicable.) (職歴)

Name and Address of Employer (勤務先及び所在地)	Period of Employment (在職期間)	Position (役職名)	Type of Work (職務内容)
	From		
	To		
	From		
	To		

* If the blanks above have not sufficient space to be filled in, write on another appropriate sheet and attach it.
((注) 上欄に書き切れない場合には、適当な別紙に記入して添付すること。)

- Notes: 1. Kindergarten education and nursery school education are not included. (幼稚園・保育所教育は含まれない。)
2. So-called "daigaku-yobi-kyoiku (preparatory education for university admission)" is included in upper secondary school.
(いわゆる「大学予備教育」は中等教育に含まれる。)
3. If the applicant has passed the university entrance qualification examination, fill in that effect in *-1 column.
(「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨を*-1欄に記入すること。)
4. If the so-called "grade-skipping" has been carried out, write that effect in the applicable column, "Diploma or Degree awarded, Major Subject, Skipped years and levels". (Example: Graduated in a short period of time by skipping the third year of upper secondary school)
(いわゆる「飛び級」をしている場合には、その旨を該当する教育課程の「学位・資格、専門科目、飛び級の状況」欄に記載すること。
(例: 高校3年次を飛び級により短期卒業))

日付 (Date) _____

出願者名前 (Name) _____

出願者署名 (Signature) _____

(群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)平成28年度第2次用)
(2016 Course of Biomedical Sciences in Graduate School of Medicine, Gunma University (Master's Program) (Secondary))

研究歴証明書

Certificate of Research Activities

国籍 (Nationality) : _____
氏名 (Name) : _____
生年月日 (Birth Date) : _____

上記の者は、下記のとおり研究歴を有することを証明する。
This is to certify that the above person has research history as follows.

記 (The Description)

在職した機関、部局名及び身分 (Institution and division for which he/she worked and his/her then status)	
研究期間 (Duration of Research)	年 月 日から 年 月 日まで (年 か月間) From : _____ to : _____ = (_____) (Day) (Month) (Year) (Day) (Month) (Year) (Year) (Month)
研究題目及び研究内容 (Title and Outline of Research)	
指導教員 職・氏名 (Name and Position of Academic Advisor)	

年月日 (Date) :

署名 (Signature) : _____
氏名 (Name) : _____
職名 (Title of Position) : _____
機関名 (Institution) : _____
所在地 (Address of Institution) : _____

(注) 証明者は、機関の長等(例えば、学長又は学部長等)とします。ただし、本学出身者(在学者を含む)についての証明者は指導教員でもかまいません。
Note: A certifier shall be a head (e.g., President, Dean, or Director, etc.) of an organization. However, in the case of certifying a research history of our university graduate (including a student enrolled in our university), a supervisor may also serve as a certifier.

切
り
と
り
線
(Perforated line)



周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。

The above design of “大學 (kanji for university, called ‘daigaku’)” surrounded by the famous picturesque view of three carved mountains which comprise Mt. Akagi, Mt. Haruna, and Mt. Myogi and are called JOMO SANZAN symbolizing Gunma Prefecture is the emblem of Gunma University.